

展示会活用マーケティング戦略

—成功するための出展実践ハンドブック—

はじめに..... 2

写真で見る国内外の代表的展示会..... 9

第1部 「展示会」というメディアの特性と近年の展示会を取り巻く環境 15

I. 展示会はマーケティングおよびコミュニケーションツールである.....16

II. ダイレクトマーケティングにおける「展示会」の位置づけ.....16

III. 展示会で期待できること.....17

IV. 世界の展示会状況.....18

第2部 展示会出展活動のすべて 29

第1章 出展決定に必要なプロセス

I. 参加の動機づけ手順.....30

II. 参加目的の決定.....31

III. 参加のタイミング.....31

IV. 展示会选择のポイント.....32

V. 主な展示会データベース.....35

VI. 展示会視察のポイント.....35

VII. 出展コスト分析.....36

第2章 出展計画

I. 展示会参加業務の全体像.....38

II. 参加業務の予定表、工程表の作成.....40

第3章 展示会の準備・運營業務の実施

I. 出展目的の確認と出展参加チームの設置.....42

II. 成果目標の決定.....42

III. 展示品の選定.....43

IV. 商談の準備.....43

V. オーダーフォームの活用.....44

VI. 展示装飾.....44

VII. 展示品の輸送.....45

VIII. 来場者誘致の取組み.....45

IX. ブースでのアテンド業務.....47

X. 価格など取引条件の設定	48
XI. 広報活動	49
XII. 展示会終了後のフォロー	49
XIII. 出展成果の分析	50
第4章 海外展示会出展のすすめ	
Ⅰ. 海外展示会出展はなぜ必要か	52
Ⅱ. 海外展示会の効用	54
Ⅲ. 出展における一連の流れ	61
Ⅳ. マーケティングのテクニックを活用した展示会成功術	79
Ⅴ. 展示品の輸送	103
第5章 国内外展示会出展ケーススタディ	
事例1 <いまばりタオル産地>	115
事例2 <(株)シラカワ>	117
事例3 <熊野町商工会>	118
事例4 <山中漆器連合協同組合>	121
事例5 <(株)東京かねふく>	123
事例6 <ガイオ・テクノロジー(株)>	124
事例7 <森田アルミ工業(株)>	126
事例8 <アストロデザイン(株)>	128
事例9 <認定農業法人片山りんご(有)>	130
事例10 <(株)不二越>	132
第3部 “効果的に見せる” “売上につなげる” ための出展ブースづくり	135
第1章 ブースづくりの流れ	
Ⅰ. 国内展示会出展に際してのブースプランニング	136
Ⅱ. 海外展示会出展に際してのブースプランニング	140
第2章 集客力の高いブースデザインとは？	
Ⅰ. 集客効果の高いブースデザイン	143
第3章 ディスプレイデザイン	
Ⅰ. 主なディスプレイ・システム部材と特徴	148
Ⅱ. ブースデザインのモデルプラン	152

第4章 電気工事と照明	
I. 電気工事と照明	159

第5章 コンパニオン、ナレーター、MCなどのスタッフ	
I. なぜ、コンパニオン、ナレーター、MCを起用するのか	161
II. 人材派遣会社の選択のポイント	161
III. スタッフ採用のポイント	162
IV. 教育とリハーサル	163
V. ユニフォーム	163
VI. スタッフのコスト	164

第4部 資料編	165
----------------	------------

● 主要国内展示会の業種別一覧	166
● 展示会・イベント・コンベンション関連団体・サポート企業	191
● 全国展示・コンベンション施設一覧	204
● ブースデザインワーク・コレクション	
・国際フィッシングショー2006/ダイワ精工ブース	222
・システムコントロールフェア2005	
/ロックウェル オートメーション ジャパンブース	224
・インテリアトレンドショー (JAPANTEX2004/2005) /ニチベイブース	226
・CEATEC JAPAN 2005/メモリースティック賛同企業共同ブース	228
・人とくるまのテクノロジー展2006	
/日本ナショナルインスツルメンツブース	230
・エコプロダクツ2005/住生活グループブース	232
・第39回東京モーターショー/アルパインブース	234
・第16回ファインテック・ジャパン/グラビティブース	236
・Tokyo Special Import-Car Show 2006	
/住友ゴム工業・ダンロップファルケンタイヤブース	238
・第8回自動認識総合展/サトーブース	240
・第106回日本外科学会定期学術集会	
/ジョンソン・エンド・ジョンソンブース	242
執筆陣紹介	244